

会告 I

第 60 回日本輸血・細胞治療学会総会のご案内 (第 5 報)

会員各位

第 60 回日本輸血・細胞治療学会総会は「輸血と細胞治療～信の醸成と智の具現～」をテーマに福島県郡山市で開催されます。

昨年発生した東日本大震災のため紙上開催となった第 59 回本学会総会 (半田 誠総会長) の、周到に準備された各種シンポジウムなどの企画を引き継ぎ、いわば第 59 回 + 第 60 回として開催したいと準備を進めてまいりました。幸い、多くの演題を登録いただき、また、共催企業のご支援により、内容的にも大変充実したものとなっております。

東日本大震災の被災地・福島の地で復興を祈念しつつ、輸血医学と皆様の発展に役立てていただけることを心から願ひ、多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

第 60 回日本輸血・細胞治療学会総会
総会長 大戸 齊
(福島県立医科大学 輸血・移植免疫学 教授)

記

I. 会 期：2012 年 (平成 24 年) 5 月 25 日 (金) ~27 日 (日)

II. 会 場：ホテルハマツ郡山
〒963-8578 福島県郡山市虎丸町 3 番 18 号
TEL：024-935-1111 (代)
<http://www.hotel-hamatsu.co.jp>

III. 特別プログラム

※敬称略

1. 総会長講演 (PL) [5 月 27 日 (日) 11:45-12:45 第 1 会場]

血小板の保存と保存傷害の克服

座長：高松 純樹 (愛知県赤十字血液センター 所長)

演者：大戸 齊 (福島県立医科大学 輸血・移植免疫学 教授)

2. 特別講演 (SL)

1) [5 月 25 日 (金) 13:00-14:00 第 2 会場]

Blood Component Transfusions for Infants: Guidelines & Products

座長：星 順隆 (国際医療福祉大学)

演者：Ronald G. Strauss (Professor Emeritus of Pathology & Pediatrics University of Iowa)

2) [5 月 25 日 (金) 16:30-17:30 第 1 会場]

経口肝炎ウイルス：最近の知見

座長：池田 久實 (北海道赤十字血液センター 名誉所長)

演者：岡本 宏明 (自治医科大学 感染免疫学ウイルス学部門 教授)

3) [5 月 25 日 (金) 16:30-17:30 第 2 会場]

放射線災害医療と健康リスク管理

座長：佐川 公矯 (福岡県赤十字血液センター)

演者：山下 俊一 (福島県立医科大学 副学長)

- 4) [5月26日(土) 13:00-14:00 第1会場]
日本のジャンヌダルクとよばれた女性: 会津人・山本八重
座長: 湯浅 晋治 (順天堂大学 名誉教授)
演者: 星 亮一 (日本文芸家協会)
- 5) [5月26日(土) 14:00-15:00 第1会場]
Biovigilance in the USA: Improving transfusion outcomes by analyzing adverse events
座長: 山口 一成 (熊本大学発生医学研究所)
演者: Richard Benjamin (American Red Cross, Chief Medical Officer)
- 6) [5月26日(土) 13:00-14:00 第2会場]
医学教育の現状
座長: 高橋 孝喜 (東京大学医学部附属病院輸血部 教授)
演者: 村田 善則 (文部科学省高等教育局医学教育課長)

3. 村上記念賞受賞講演 (ML)

- 1) 2011年(第10回) 受賞講演 [5月25日(金) 13:00-13:45 第1会場]
血小板輸血副作用とCD36
座長: 大戸 斉 (福島県立医科大学輸血・移植免疫学 教授)
演者: 池田 久實 (北海道赤十字血液センター 名誉所長)
- 2) 2012年(第11回) 受賞講演 [5月25日(金) 13:50-14:35 第1会場]
臨床輸血の実践と血液事業の変遷に係って
座長: 高橋 孝喜 (東京大学医学部附属病院輸血部 教授)
演者: 二之宮景光 (医療法人社団ユークレイジア会 小山病院)

4. 特別セミナー (SS) [5月26日(土) 10:30-11:30 第1会場]

- 人工血小板 (仮題)
座長: 半田 誠 (慶應義塾大学輸血・細胞療法センター 教授)
講師: 高山 直也 (京都大学 iPS 細胞研究所 臨床応用部門特定拠点)

5. 学術奨励賞受賞講演 (GL)

- 1) 2011年受賞講演 [5月25日(金) 14:40-16:10 第1会場]
① 遺伝子導入血小板抗原発現細胞を用いた MAIPA 法の検討
座長: 森田 庄治 (埼玉県赤十字血液センター検査二課)
演者: 尼岸 悦子 (大阪府赤十字血液センター)
② 抗 HLA クラス I 抗体による好中球活性化と脱顆粒に関する検討
座長: 菊田 敦 (福島県立医科大学附属病院臨床腫瘍センター)
演者: 高橋 大輔 (北海道赤十字血液センター 検査部)
③ 複合的な抗血小板同種抗体検査法の重要性
座長: 上條 亜紀 (横浜市立大学附属病院輸血・細胞治療部 部長)
演者: 松橋 美佳 (東京大学医学部附属病院 輸血部)
- 2) 2012年受賞講演 [5月27日(日) 13:00-14:00 第2会場]

6. 教育講演 (EL)

- 1) [5月25日(金) 9:10-9:40 第2会場]
臨床研究に関する規制と今後の動向
座長: 福武 勝幸 (東京医科大学臨床検査医学講座 教授)
講師: 佐藤 典宏 (北海道大学高度先進医療支援センター長)
- 2) [5月25日(金) 9:10-9:40 第3会場]
赤血球抗原: 最近の知見
座長: 谷 慶彦 (南大阪赤十字血液センター 所長)
講師: 内川 誠 (東京都赤十字血液センター検査一部 部長)

- 3) [5月25日(金)9:10-9:40 第4会場]
顆粒球輸血の実際と今後の課題
座長:梶原 道子(東京医科歯科大学医学部附属病院輸血部 部長)
講師:菊田 敦(福島県立医科大学附属病院臨床腫瘍センター)
 - 4) [5月26日(土)9:00-9:30 第2会場]
血栓症のリスク因子としてのヘパリン起因性血小板減少症—本邦における現状と問題点—
座長:比留間 潔(比留間医院)
講師:宮田 茂樹(国立循環器病研究センター 輸血管理室)
 - 5) [5月26日(土)9:00-9:30 第3会場]
アジアにおける赤血球不規則抗体共同研究
座長:北澤 淳一(黒石市国民健康保険黒石病院)
講師:竹下 明裕(浜松医科大学附属病院 輸血細胞治療部)
 - 6) [5月26日(土)9:00-9:30 第4会場]
ヘモグロビンの構造と結合酸素の安定性
座長:藤井 寿一(東京女子医科大学輸血・細胞プロセッシング部 教授)
講師:松岡 有樹(福島県立医科大学自然科学講座生物学 教授)
 - 7) [5月26日(土)9:00-9:30 第5会場]
難治性特発性血小板減少性紫斑病の治療
座長:椿 和央(近畿大学奈良病院血液内科 教授)
講師:富山 佳昭(大阪大学医学部附属病院輸血部)
 - 8) [5月27日(日)9:00-9:30 第2会場]
ABO不適合造血細胞移植
座長:長井 一浩(長崎大学病院細胞療法部)
講師:木村 文彦(防衛医科大学校内科学 教授)
 - 9) [5月27日(日)9:00-9:30 第3会場]
XMRVと輸血
座長:羽藤 高明(愛媛大学医学部附属病院輸血・細胞治療部)
講師:浜口 功(国立感染症研究所血液・安全性研究部 部長)
 - 10) [5月27日(日)9:00-9:30 第4会場]
播種性血管内凝固(DIC)の病態と輸血療法
座長:新井 盛大(ノボノルディスクファーマ株式会社 開発部門)
講師:和田 英夫(三重大学医学部 血栓症・止血異常症診療センター長)
- 7. 教育セミナー (ES)** [5月27日(日)11:45-12:45 第3会場]
認定輸血検査技師の現在
モデレーター:田中 朝志(東京医科大学八王子医療センター臨床検査医学科・輸血部)
プレゼンター:
①認定試験受験者が陥りやすい隘路とその克服
常山 初江(東京都赤十字血液センター検査一部)
②認定輸血検査技師の現在「問題解決能力の獲得にむけて」
奥田 誠(東邦大学医療センター大森病院 輸血部)
- 8. シンポジウム (SY)**
- 1) [5月25日(金)9:10-11:35 第1会場]
輸血の安全性の到達水準 [共催:旭化成メディカル株式会社]
モデレーター:田所 憲治(日本赤十字社血液事業本部 中央血液研究所 所長)
藤井 康彦(山口大学医学部附属病院輸血部)
シンポジスト:
①日本赤十字社に報告された輸血副作用・感染症症例の推移(2011年)
百瀬 俊也(日本赤十字社血液事業本部安全管理課 課長)

- ②ウイルス核酸増幅検査 NAT の総合評価と今後の課題
佐竹 正博 (東京都西赤十字血液センター 所長)
- ③保存前白血球除去輸血製剤による開心術後炎症反応抑制効果
宮地 鑑 (北里大学病院心臓血管外科 主任教授)
- ④自己血輸血への白血球除去導入による効果
菅野 隆浩 (福島県赤十字血液センター)
- ⑤TRALI の現状と経産婦ドナー除外の有効性
岡崎 仁 (日本赤十字社血液事業本部 中央血液研究所研究開発部 部長)
- 2) [5月25日(金) 13:00-14:50 第3会場]
輸血過誤と対策 [共催: オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社]
モデレーター: 池田 和真 (岡山県赤十字血液センター 所長)
藤井 康彦 (山口大学医学部附属病院輸血部)
- シンポジスト:
- ①ABO 不適合輸血の発生要因
米村 雄士 (熊本大学医学部附属病院輸血・細胞治療部)
- ②事例から学ぶ検証と対応
田守 昭博 (大阪市立大学医学部附属病院輸血部)
- ③過誤輸血を防御するシステムへの検査技師の関与
梶田 幸夫 (桐生厚生総合病院中央検査部)
- ④輸血過誤を機に輸血手順と看護手順を見直した輸血システムの改革
馬場 叔子 (いわき市立総合磐城共立病院看護部 医療安全管理者)
- 3) [5月25日(金) 15:00-16:30 第3会場]
将来の輸血医療/職種連携によるチーム医療の構築 [共催: 川澄化学工業株式会社]
モデレーター: 室井 一男 (自治医科大学附属病院輸血・細胞移植部 教授)
高橋 孝喜 (東京大学医学部附属病院輸血部 教授)
- シンポジスト:
- ①(基調講演) 輸血・細胞治療学の立場から
半田 誠 (慶応義塾大学 輸血・細胞療法センター 教授)
- ②看護協会の立場から
中谷 順子 (公益社団法人日本看護協会 事業開発部)
- ③認定輸血検査技師の立場から
東谷 孝徳 (久留米大学医学部附属臨床検査専門学校)
- ④輸血医学と細胞治療学の世界的動向からみた全体像
高本 滋 (愛知医科大学輸血部細胞治療センター 教授)
- 4) [5月25日(金) 16:40-18:40 第3会場]
ヘモネティクスジャパン・シンポジウム: 洗浄血小板の臨床効果と将来展望
[共催: ヘモネティクスジャパン合同会社]
モデレーター: 椿 和央 (近畿大学医学部奈良病院血液内科 教授)
田所 憲治 (日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所 所長)
- シンポジスト:
- ①造血器疾患患者の血小板輸血における問題
小澤 幸泰 (名古屋第一赤十字病院輸血部 部長)
- ②洗浄血小板の今後の課題
東 寛 (旭川医科大学小児科学 教授)
- ③血小板保存液 M-sol 置換血小板の安全性と有効性に関する検討
下平 滋隆 (信州大学医学部附属病院先端細胞治療センター)
- ④洗浄血小板による非溶血性輸血副作用の予防
加藤 栄史 (愛知医科大学輸血部細胞治療センター)

5) [5月26日(土)9:30-11:30 第1会場]

CSL ベーリング・シンポジウム：世界における血漿分画製剤治療の現況

[共催：CSL ベーリング株式会社]

モデレーター：高松 純樹（愛知県赤十字血液センター 所長）

稲田 英一（順天堂大学麻酔科学・ペインクリニック講座 主任教授）

シンポジスト：

①欧米の血漿分画製剤使用状況：凝固因子製剤（クリオプレシビテート/フィブリン）とアルブミン製剤

小川 覚（Emory University, Section Anesthesiology）

②日本における大量出血/危機的出血に対する治療の現状と問題点

宮田 茂樹（国立循環器病研究センター輸血管管理室）

③アルブミン結合毒素とアルブミン透析（extracorporeal albumin dialysis：ECAD）

阿部 貴弥（岩手医科大学泌尿器科）

④海外のアルブミン治療エビデンス解析

安村 敏（富山大学附属病院輸血・細胞治療部）

6) [5月26日(土)13:00-15:00 第3会場]

危機的出血への輸血治療を検証する [共催：日本赤十字社]

モデレーター：稲田 英一（順天堂大学麻酔科学・ペインクリニック講座 主任教授）

高松 純樹（愛知県赤十字血液センター 所長）

シンポジスト：

①血液型検査や血液凝固検査の合理的な運用

福武 勝幸（東京医科大学臨床検査医学 教授）

②危機的出血時の凝固因子，血小板補充の意義

宮田 茂樹（国立循環器病研究センター輸血管管理室）

③出血死増加のリスク因子

入田 和男（九州大学病院医療安全管理部）

④危機的出血時の放射線照射の必要性

藤井 康彦（山口大学医学部附属病院輸血部）

7) [5月26日(土)14:00-16:00 第4会場]

輸血細胞治療：基礎から臨床へ

モデレーター：富山 佳昭（大阪大学医学部附属病院輸血部 病院教授）

山本 晃士（名古屋大学医学部附属病院輸血・細胞治療部）

シンポジスト：

①VWF 研究深化で示された TTP 診断と血漿交換療法のエビデンス

藤村 吉博（奈良県立医科大学附属病院輸血部 教授）

②TRALI 発生機序の解明を目指して一白血球抗体の検出および好中球活性化試験を中心に

平山 文也（大阪府赤十字血液センター研究部）

③不死化赤血球前駆細胞株からの赤血球の人工生産

中村 幸夫（理化学研究所バイオリソースセンター細胞材料開発室 室長）

④次世代の血管新生治療の開発

南野 徹（千葉大学大学院医学研究院先端応用医学講座循環病態医科学）

8) [5月27日(日)9:00-11:30 第1会場]

細胞移植と細胞治療に係る指針と運用

モデレーター：加藤 俊一（東海大学医学部基盤診療学系再生医療科学 教授）

前川 平（京都大学医学部附属病院輸血細胞治療部 教授）

シンポジスト：

①再生医療の推進にむけて～「ヒト幹細胞を用いる臨床研究に関する指針」の改正など～

佐原 康之（厚生労働省医政局研究開発振興課 課長）

- ②非血縁者間末梢血幹細胞移植における輸血部門の役割
豊嶋 崇徳（九州大学病院遺伝子・細胞療法部）
 - ③「院内における血液細胞処理のための指針」に基づいた輸血・細胞治療部門の基盤整備
田野崎隆二（国立がん研究センター中央病院 臨床検査科）
 - ④細胞移植と細胞治療に係る指針と運用
澤 芳樹（大阪大学大学院医学系研究科外科学講座 心臓血管外科 教授）
 - ⑤「医療機関における自家細胞・組織を用いた再生・細胞医療の実施について」：免疫細胞療法における指針および治療の現況と展望
森尾 友宏（東京医科歯科大学発生発達病態学分野 准教授）
- 9) [5月27日（日）13：00-15：40 第1会場]
合同輸血療法委員会の役割と意義 [共催：日本赤十字社]
モデレーター：稲葉 頌一（神奈川県赤十字血液センター 所長）
佐川 公矯（福岡県赤十字血液センター）
- シンポジスト：
- ①献血の現状と合同輸血療法委員会の意義について
伯野 春彦（厚生労働省医薬食品局血液対策課）
 - ②総括的輸血アンケートによる全国実態調査
牧野 茂義（虎の門病院輸血部 部長）
 - ③神奈川県における合同輸血療法委員会活動
吉場 史朗（東海大学医学部附属病院輸血室）
 - ④高知県合同輸血療法委員会設立の経緯と活動充実への取り組み
今村 潤（高知大学医学部附属病院輸血部）
 - ⑤青森県合同輸血療法委員会活動による安全で適正な輸血医療への貢献
立花 直樹（青森県立中央病院輸血部 部長）
 - ⑥静岡県合同輸血療法委員会の役割と試み
橋ヶ谷尚路（焼津市立総合病院企画経理課 情報システム係）
 - ⑦新潟県の試み—学術課（日赤 MR）の立場から
瀬下 敏（新潟県赤十字血液センター学術課）

9. パネルディスカッション (PD)

- 1) [5月26日（土）9：00-10：30 第1会場]
産科危機的出血の病態とその輸血対応
モデレーター：久保 隆彦（国立成育医療研究センター周産期センター産科 医長）
藤森 敬也（福島県立医科大学産科婦人科学 教授）
- パネリスト：
- ①産科危機的出血に対する IVR（放射線診断技術の治療的応用）ガイドライン
曾根 美雪（岩手医科大学放射線医学）
 - ②産科危機的出血への輸血療法：凍結血漿（FFP）投与の重要性と問題
村山 敬彦（埼玉医大総合医療センター総合母子医療センター）
 - ③産科危機的出血に対する術中止血法と管理
牧野真太郎（順天堂大学医学部産婦人科学）
 - ④スーパー総合周産期センターにおける産科危機的出血の現状とその対応
市塚 清健（昭和大学医学部産婦人科教室）
- 2) [5月26日（土）16：10-17：50 第4会場]
こんな時どうすればいいか？ [共催：テルモ BCT 株式会社]
モデレーター：岩尾 憲明（山梨大学医学部附属病院輸血細胞治療部 部長）
友田 豊（旭川医科大学病院臨床検査・輸血部 技師長）

パネリスト：

- ①適合赤血球が見つからない！
丸橋 隆行（群馬大学医学部附属病院輸血部）
 - ②血液型判定ができない！
丸山美津子（三重大学医学部附属病院輸血部）
 - ③輸血前検査について救急医が知りたいこと・気になること
織田 順（東京医科大学病院救命救急センター センター長）
 - ④血小板が増えない！
笹田 裕司（京都府立医科大学附属病院輸血・細胞治療部）
 - ⑤（追加発言）血小板抗体について
宮崎 孔（北海道赤十字血液センター検査部）
 - ⑥医師が知らない輸血検査～輸血教育と情報共有～
萩原将太郎（国立国際医療研究センター血液内科）
- 3) [5月27日（日）9：40-11：40 第3会場]
3.11大震災：救急医療と輸血
モデレーター：益子 邦洋（日本医科大学千葉北総病院救命救急センター 部長）
田勢長一郎（福島県立医科大学救急医療学 教授）

パネリスト：

- ①3.11大震災による原子力災害
長谷川有史（福島県立医科大学救急医療学）
- ②災害外傷診療と Damage Control Resuscitation
齋藤 伸行（日本医科大学千葉北総病院救命救急センター）
- ③災害時の輸液・輸血療法（Crush Syndromeを中心に）
大友 康裕（東京医科歯科大学大学院救急災害医学分野 教授）
- ④大震災時にみられる深部静脈血栓症—診断と治療—
榛沢 和彦（新潟大学大学院呼吸循環外科学分野）

10. ワークショップ（WS）

- 1) [5月26日（土）9：35-11：20 第2会場]
輸血検査の進歩と検証 [共催：バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社]
モデレーター：安田 広康（福島県立医科大学附属病院輸血・移植免疫部）
石丸 健（北海道赤十字血液センター検査部検査一課）
プレゼンター：
①赤血球血液型の遺伝子検査
田中 光信（大阪府赤十字血液センター研究部研究一課）
②不規則抗体検査：カラム凝集法と用手法，反応増強剤と酵素法の活用法
国分寺 晃（兵庫医科大学附属病院輸血部）
③HLA 遺伝子タイピングと表記法
中島 文明（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所研究開発部）
④HLA/HPA 抗体検査：Immunocomplex capture fluorescence analysis（ICFA）による
HLA および HPA 抗体の同時検出
藤原 孝紀（帝京大学医学部附属病院輸血・細胞治療センター）
- 2) [5月26日（土）14：10-16：00 第6会場]
輸血医療のIT化と電子カルテ
モデレーター：大坂 顕通（順天堂大学医学部輸血・幹細胞制御学研究室 教授）
福吉 葉子（熊本大学医学部附属病院輸血部）
プレゼンター：
①輸血医療における安全性確保とコンピュータシステムの役割
藤野 恵三（大阪市立大学医学部附属病院輸血部）

- ②電子カルテと輸血管理システムの接続の問題点
遊佐 貴司（東邦大学医療センター大森病院輸血部）
- ③IT化による輸血運用見直しの重要性
大澤 俊也（順天堂大学医学部附属順天堂病院輸血室）
- ④電子カルテを利用した自己血用マイ・カルテによる自己血外来の運用
末岡榮三朗（佐賀大学医学部附属病院輸血部 部長）
- 3) [5月26日（土）16：10-17：50 第5会場]
献血血液の研究利用
モデレーター：田所 憲治（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所 所長）
難波江功二（国立感染症研究所感染症情報センター）
プレゼンテータ：
①献血血液の研究開発等での使用に関する指針について
伯野 春彦（厚生労働省医薬食品局血液対策課）
②日本赤十字社の研究用血液譲渡について
日野 学（日本赤十字社血液事業本部）
③献血血液を用いた研究のあり方
宇津木 伸（前）東海大学教授）
④献血血液の教育・研修・研究への活用
佐川 公矯（福岡県赤十字血液センター）
⑤感染症研究への応用
多屋 馨子（国立感染症研究所感染症情報センター 室長）
⑥献血資源の遺伝子検査へ
大久保光夫（埼玉医科大学総合医療センター輸血部・細胞治療部）
- 4) [5月26日（土）16：10-17：50 第6会場]
看護師と輸血業務
モデレーター：田崎 哲典（東京慈恵会医科大学輸血部 教授）
金森 平和（神奈川県立がんセンター血液内科 部長）
プレゼンテータ：
①手術部門での輸血関連業務—輸血製剤専用保冷庫の適正な温度管理を中心に—
根津小百合（福島県立医科大学附属病院手術部 学会認定・輸血看護師）
②ベッドサイドでの輸血業務で注意していること
原田千夏子（NTT 東日本関東病院看護部手術室 手術看護認定看護師）
③手術部門での輸血関連看護業務
原田千夏子（NTT 東日本関東病院看護部手術室 手術看護認定看護師）
④外来部門での看護業務「アフエレーシスと自己血」
今野まゆみ（東京女子医科大学輸血・細胞プロセッシング部
学会認定・自己血看護師, アフエレーシスナース, 輸血看護師）
- 5) [5月27日（日）13：00-15：00 第3会場]
貯血式自己血輸血—適正な実施基準確立にむけて—
（第14回学会認定・自己血輸血看護師制度協議会指定セミナー）
[共催：協和発酵キリン株式会社・川澄化学工業株式会社・ヘモネティクスジャパン合同会社]
モデレーター：脇本 信博（帝京大学医学部附属病院整形外科・輸血部）
面川 進（秋田県赤十字血液センター 所長）
プレゼンテータ：
①アンケート調査からみた日本の自己血輸血の現状
田中 朝志（東京医科大学八王子医療センター臨床検査医学科・輸血部 部長）
②80歳以上の高齢者でも安全に術前自己血貯血が可能である
小林寿美子（日本大学医学部附属板橋病院血液膠原病内科 輸血室室長）

- ③自己血貯血時の副作用軽減への試み
大崎千津子（広島大学病院看護部 看護師長）
- ④貯血式自己血輸血実施体制確立に向けての認定取得・自己血輸血看護師の取り組み
小松久美子（整友会弘前記念病院看護部）
- ⑤産科領域での自己血輸血実施の利点・問題点、今後の課題
渡辺 典芳（国立成育医療研究センター周産期診療部産科）
- ⑥（教育講演）貯血式自己血輸血のあり方とその実際
脇本 信博（帝京大学医学部附属病院整形外科・輸血部）
- 11. テクニカルセミナー（TS）** [5月25日（金）9：45-11：35 第3会場]
造血細胞の処理・操作・アッセイ
モデレーター：田野崎隆二（国立がん研究センター中央病院臨床検査科 副科長）
室井 一男（自治医科大学附属病院輸血・細胞移植部 教授）
プレゼンター：
①院内における血液細胞処理のための指針について
室井 一男（自治医科大学附属病院輸血・細胞移植部 教授）
②細胞処理の基本的操作と検査
長村登紀子（東京大学医学研究所附属病院セルプロセッシング輸血部）
③末梢血幹細胞の処理および凍結保存
伊藤 経夫（東北大学未来医工学治療開発センター臨床応用部門）
④骨髄移植における骨髄液からの赤血球除去
岸野 光司（自治医科大学附属病院輸血・細胞治療部）
⑤Minor mismatch 骨髄液の処理
上村 知恵（慶應義塾大学病院輸血・細胞療法部）
⑥凍結細胞の凍解・輸注：理論と実際
田野崎隆二（国立がん研究センター中央病院臨床検査科）
- 12. イブニングセミナー（EVS）** [5月25日（金）17：40-18：40 第1会場]
自己フィブリン糊の可能性 [共催：旭化成クラレメディカル株式会社]
モデレーター：前田 平生（埼玉医科大学総合医療センター輸血・細胞治療部 教授）
プレゼンター：
「自己血から調整された自己フィブリン糊の有用性」
牧野 茂義（虎の門病院輸血部 部長）
- 13. ガイダンス（GD）**
- 1) [5月25日（金）17：40-18：40 第5会場]
認定医試験受験予定者のための講習会
世話人：浅井 隆善（千葉県赤十字血液センター 所長）
講師：①小原 明（東邦大学医療センター大森病院輸血部）
②大久保光夫（埼玉医科大学総合医療センター輸血・細胞治療部）
- 2) [5月25日（金）17：40-18：40 第4会場]
学会認定・アフエレーシスナース受験予定者のためのガイダンス
世話人：室井 一男（自治医科大学附属病院輸血・細胞移植部 教授）
講師：①池田 和真（岡山県赤十字血液センター 所長）
②井関 徹（千葉大学医学部附属病院輸血部）
③[受験体験記] 松本 真弓（神鋼病院 血液疾患・移植センター 学会認定・輸血看護師）
- 3) [5月27日（日）9：40-10：40 第2会場]
学会認定・輸血看護師受験予定者のためのガイダンス
世話人：田崎 哲典（東京慈恵会医科大学輸血部 教授）

講師：①学会認定・輸血臨床看護師受験申請の留意点

水田 秀一（藤田保健衛生大学血液内科・化学療法科）

②講習会・試験・病院研修

梶原 道子（東京医科歯科大学医学部附属病院輸血部 部長）

③学会認定・輸血看護師試験を受けて

島 京子（富山大学附属病院輸血・細胞治療部 学会認定・輸血看護師）

④病院研修を担当して

上條 亜紀（横浜市立大学附属病院輸血・細胞治療部 部長）

14. 共催（ランチオン）セミナー（LS）

- 1) [5月25日（金）11：45-12：45 第1会場] [共催：中外製薬株式会社]

お産は命がけ！—産科領域における適正な輸血療法推進の条件—

座長：脇本 信博（帝京大学医学部整形外科 准教授）

講師：田中 政信（東邦大学医療センター大森病院産婦人科 教授）

- 2) [5月25日（金）11：45-12：45 第2会場] [共催：ノバルティスファーマ株式会社]

輸血による鉄過剰症と治療意義（仮題）

座長：藤井 康彦（山口大学医学部附属病院輸血部 副部長）

講師：高見 昭良（金沢大学附属病院輸血部・血液内科 准教授）

- 3) [5月25日（金）11：45-12：45 第4会場] [共催：シーラス社]

Improving patients outcomes with Pathogen Inactivated blood components（同時通訳有）

座長：Richard Benjamin（American Red Cross Chief Medical Officer）

“US Status: unmet needs in blood safety and challenges before approval of Pathogen Inactivation”

講師：Jean-Pierre Cazenave, MD, PhD

（Director of the Établissement Français du Sang (EFS)-Alsace, Professor of Hematology and Transfusion at the University of Strasbourg and member of Academie Nationale de Medicine in Paris）

“Pathogen Inactivation Treatment of Labile Blood Components to Prevent Transfusion-Transmitted Infections: 6 Years of Experience in Transfusion Safety”

- 4) [5月26日（土）11：45-12：45 第1会場] [共催：バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社]

救命救急医療の現状と緊急輸血～ERでは何が起きているのか～Part 3

座長：大坂 顕通（順天堂大学医学部輸血・幹細胞制御学 教授）

講師：益子 邦洋（日本医科大学救急医学講座 教授・千葉北総病院救命救急センター長）

- 5) [5月26日（土）11：45-12：45 第2会場] [共催：株式会社カイノス・和光純薬工業株式会社]

Blood Group Genotyping（仮題）

座長：高本 滋（愛知医科大学輸血部細胞治療センター教授）

講師：Joann M. Moulds（LifeShare Blood Centers）

- 6) [5月26日（土）11：45-12：45 第4会場] [共催：田辺三菱製薬株式会社・株式会社ベネシス]

血漿分画製剤の国内自給について—インフォームド・コンセントの重要性—

座長：佐川 公矯（福岡県赤十字血液センター）

講師：牧野 茂義（国家公務員共済組合連合会虎の門病院輸血部 部長）

- 7) [5月26日（土）11：45-12：45 第5会場] [共催：富士レビオ株式会社]

B型肝炎 Up to date—HBV 各種抗原測定系の臨床的有用性—

座長：安村 敏（富山大学附属病院輸血・細胞治療部 副部長）

講師：松本 晶博（信州大学医学部消化器内科 講師）

15. 日本血小板・顆粒球型ワークショップ [5月25日（金）18：00-20：00 第2会場]

事務局長：永尾 暢夫（神戸常盤大学保健科学部医療検査学科 教授）

16. I&A/Q&A [5月27日（日）10：30-11：30 第6会場]

I&A インスペクター講習会 [5月27日（日）12：50-16：50 第6会場]

IV. お知らせ：利益相反（COI）開示（予定）

スライドかポスター掲示にて、筆頭発表者について過去1年間のCOI開示を予定しています。
(強制ではありません)

詳しくは第60回日本輸血・細胞治療学会ホームページをご参照下さい。

<http://www.fmu.ac.jp/home/yuketsu/jstmct60/index.html>

V. 関連行事

- 1) 各種委員会・総理事会 平成24年5月24日(木) 郡山ビューホテルアネックス
郡山ビューホテルアネックス：〒963-8004 郡山市中町10-10 TEL024-939-1112
- 2) 社員総会 平成24年5月26日(土) ホテルハマツ
- 3) 会員総会 平成24年5月26日(土) ホテルハマツ
- 4) 会員懇親会 平成24年5月26日(土) ホテルハマツ
- 5) 機器展示 平成24年5月25日(金)～27日(日) ホテルハマツ

VI. 連絡先

1) 第60回総会本部および運営事務局：

福島県立医科大学 輸血・移植免疫学講座
〒960-1295 福島県福島市光が丘1
TEL：024-547-1539 FAX：024-549-3126
E-mail：yuketu60@fmu.ac.jp

2) 第60回総会演題登録事務局（演題登録）：演題登録は終了し、計246題の申込みがありました。

株式会社 サンプラネット内
〒112-0012 東京都文京区大塚3-5-10 住友成泉小石川ビル7階
TEL：03-5940-2610 FAX：03-3942-6396
E-mail：60annual@sunpla-mcv.com

3) 学会本部事務局（学会入会申込等）：

一般社団法人 日本輸血・細胞治療学会 事務局
〒113-0033 東京都文京区本郷2-14-14 ユニテビル5階
TEL：03-5804-2611 FAX：03-5804-2612
E-mail：60annual@jstmct.or.jp

VII. 総会ホームページ：<http://www.fmu.ac.jp/home/yuketsu/jstmct60/index.html>